

V. 特記事項

1. 第1回 作新リカレント講演会の開催

令和4(2022)年8月28日(日)に、「第1回 作新リカレント講演会」を本学の作新清原ホールを主会場にオンラインと併用という形で開催した。

当日は、会場50人(一般参加28人、しもつき会会員11人、教職員11人)・オンライン参加者19人の合計69人が参加した。この講演会は、本学の同窓会である「しもつき会」との共催で、地元メディアの下野新聞社ととちぎテレビの後援を受け、一般にも公開する形で行った。約半年の間、同窓会役員と本学教職員の担当者とは会議を重ねて企画を練り実施に至った事業である。

講演会では特別支援教育、学校ソーシャルワーク、応用行動分析、臨床心理学が専門の幼児教育科准教授が「はたらき始めてわかるコミュニケーションの大切さ～つながる・引き出す・つなげる～」と題し、幼児教育・保育の現場で同僚や保護者とのコミュニケーション能力の向上、職場での問題解決のための話し合いなどについて、ロールプレイングを交えて行った。参加した同窓生からは「学生時代を思い出して勉強することができた。」「とても参考になった。次回もぜひ参加したい。」という声をいただいた。

2. 第19回「学生&企業研究発表会」への出場と受賞

「学生&企業研究発表会」は「大学コンソーシアムとちぎ 学生&企業研究発表会実行委員会」の主催で、学生による地域活性化につながる研究や、人間生活の向上や改善に関する研究成果の発表を通じ、地域における学と学との交流、並びに、産学官金交流を図る事を目的として毎年1回開催される研究発表会である。

応募資格は大学コンソーシアムとちぎ加盟校に在学する学生である。発表は「地域社会貢献・人材育成分野」「環境エネルギー分野」「ものづくり・医療・福祉分野」の3分野で行われた。令和4(2022)年度の第19回の発表会には、栃木県内9の大学・短大・高等専門学校から52チームが参加した。

本学からは、2年生の学生5人がチームを組んで出場し、『音楽活動を用いたオンライン子育て支援の可能性』というテーマでコロナ禍により対面の保育実践が困難な状況を背景とした保育ビデオ(0歳から3歳くらいを対象)の制作とそれに関する研究の成果を発表した。令和4(2022)年12月3日(土)の最優秀賞選考会と同日に開催された各賞の選考会において、本学の学生チームは、「地域経済貢献賞」を受賞した。令和4(2022)年度の学生&企業研究発表会では、栃木県内の短期大学として昨年度に続き唯一の受賞だった。